

## 理念と基本的な取組の方向性の考え方

子ども・子育て支援法の目的・基本理念や、子ども・子育て支援法に基づく基本指針や高知のキャリア教育の趣旨等を踏まえるとともに、次世代計画の基本指針を参考にして、記載内容を検討します。

### 理 念(案)

※委員の方からのご意見を反映して今後検討します。

主に小学校に入学する前の子どもは、生涯にわたる人格形成の基礎となる、豊かな心情、物事にかかわろうとする意欲、健全な生活を営むために必要な態度などが、培われる重要な時期です。

そうした重要な時期の「子どもの育ち」「親の育ち」を地域全体で支援することで、高知県で子どもを生み育てる誰もが、喜びを感じられることができ、全ての子どもが生きる力の基礎を培うことができるような環境づくりに取り組めます。

## 子ども・子育て支援の取組の方向性

子どもや子育て家庭への支援は、以下の5つの視点を大切にしてください。

### ○子どもの育ちの視点

幼い子ども達が、父母その他の保護者などから溢れんばかりの愛情をそそがれ、健やかに育つことができるよう「子どもの最善の利益」を目指すとともに、発達段階に応じた子育て支援に取り組めます。

(乳児期：身近な大人との愛着形成により、人に対する基本的な信頼感が芽生える)

(幼児期(1歳～3歳まで)：特定の大人への安心感を基盤として、社会性を身につける)

(幼児期(3歳以上)：遊びを中心とした生活の中で、豊かな感性や、好奇心、思考力が養われる)

(学童期：学校教育とともに、遊びや、学習、様々な体験を通して、自立意識や他者理解等の社会性のある発達が進む)

※発達段階は、国の基本指針から抜粋

### ○「親」も「子ども」も一緒に育つ過程を支援する視点

保護者の第一義的責任のもと、子育てに不安や孤立感を抱える保護者が、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができ、より良い親子関係が築けるよう、親に寄り添い子育て力を高める支援を充実します。

### ○サービスの質の視点

子どもの発達段階に応じた教育・保育が提供されるよう、事業に従事する職員の専門性の向上を支援します。また、困難を抱える子どもやその家族に対して関係機関が連携して支援します。

### ○妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の視点

安心して、妊娠・出産・子育てができるよう支援するために必要な関係機関との連携等を推進します。

### ○地域で支え合う視点

家庭・学校・地域・事業所など子どもを取り巻く地域社会が一体となり世代を超えて子育てを支え合う地域社会を目指します。

### 【論点】

県の子育て支援における「理念」や、「基本的な視点」に対して、上記の内容をベースに策定することとしてよいか。